

保護者の皆様方には、日頃より古河三高のPTA活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本年度のPTA会長を務めます張替修と申します。三高に通う生徒たちの環境を整えるため、また、PTAが私たち大人の成長の場となるよう努力をしてまいりますので、宜しくお願い致します。

さて、会長に就任するにあたり、改めて「PTAとは何か」と考えるに、昨年の高P連の関東大会にて、来賓として挨拶をされていた神奈川県中学校長会がこのようなことを



PTA会長
張 替 修

おっしゃっていただきました。「例えば、お子さんが野球部に入ったとします。すると、野球部に入ったお子さんを応援すると思います。すると、お子さんの入った野球部も応援をしたくなります。すると、野球部の所属する高校も応援したくなります。すると高校のある地域も応援したくなります。……このように繋がっていくのがPTAなのではないでしょうか。」

まずは、PTA会員の一人として皆さんのお子さんを応援してあげて下さい。そして家庭、学校、地域と活動の範囲が広がっていく。そんなPTA活動を、皆様にお願ひしたいと思ひますので、今後とも古河三高のPTA活動に皆様ご理解、ご協力を宜しくお願ひ致します。



教 頭
田 部 井 喜 行

保護者の皆様には、日頃より本校の教育方針並びに教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

私も増田校長先生と同じく本校の卒業生であり、本校には平成二十年に赴任し今年で十一年目を迎えました。



学校長
増 田 雅 一

保護者の皆様には本校の教育活動に深いご理解とご協力をいただいておりますことに、教職員を代表して御礼申し上げます。

また、私も教職員もPTAの会員でございますことから、皆様と一体となつて、子供たちの心身共に健全な育成、

特に喫緊では進路の実現に精一杯努力してまいります。

さて、平成三十年度も無事にPTA総会等が終了し、新たな体制が発足し、活発に活動を始めていただいております。

さらに、創立以来一二、九九五名の有為な卒業生を送り出してまいりました本校に、五十回目の新入生(二三五名)を迎えることができました。

なお、平成三十一年度には創立五十周年記念式典を始め、関連行事を実施する予定としております。

今改めて十年前と現在を比べてみると、その間に高校入試の制度や学校近隣の風景は変わりましたが、古河三高生の気質や学校の教育方針は変わっていない気がいたします。

それは、良い意味で本校へ対する地域の期待やニーズが変わらず古河三高の強み(ブランド力や伝統)であると考えております。

しかし、世の中は高度情報化社会とグローバル化が急速に進展し、この十年で大きな変化がみられ、さらに近年は第4次産業革命やソサエティ5.0

そのため、昨年度には、同窓会役員、PTA役員及び教職員からなる「創立五十周年記念事業実行委員会」が発足いたしました。

結びに、多感な思春期の子供たちの心の居場所となる学校であるように、教職員一同、寄り添い、励ましていく所存でございますので、今後とも、皆様には、なお一層のご支援をお願いいたします。



が提唱され、十年先は予測できない世の中がやってきます。そのような社会に対応できる資質・能力の育成が求められ、教育界は今、明治以降の大改革期を迎えております。

このような中で、今年で創立五十周年を迎える本校もさるなる発展を目指し、保護者・地域社会との連携を密にし、将来を担う人材の育成に取り組んでいきたいと考えております。保護者の皆様にはこれからも変わらぬご理解とご支援をお願いいたします。